

6.1 主要諸元

3つ折れ超ロングアタッチメント仕様/セパレートブーム仕様/解体バックホウ仕様

本体型式	SK350DLC-9			
仕様	超ロング アタッチメント	セパレートブーム		解体バックホウ
		基本ジブシリンダ仕様	大径ジブシリンダ仕様	

●寸法

本体全長	14,730mm	13,210mm	12,500mm
上部本体全幅	2,980mm		
クローラ全幅	3,190mm		
本体全高	3,220mm		

●運転質量

運転質量	42,200kg	41,800kg	42,100kg	41,100kg
接地圧	79kPa	78kPa	79kPa	77kPa

●機械質量

機械質量(破碎機除く)	39,500kg	38,000kg	38,300kg	37,200kg
本体質量	29,600kg	29,600kg	29,600kg	29,600kg
フルアタッチメント 質量	9,940kg	8,400kg	8,700kg	7,630kg

●性能

最大作業高さ (アーム先端ピン)	20,490mm	13,560mm	13,570mm	最大掘削半径 11,630mm
最大作業可能半径 (アーム先端ピン)	横向き10,000mm 縦向き12,500mm	横向き8,500mm 縦向き10,200mm	横向き8,500mm 縦向き10,200mm	最大掘削深さ 7,690mm
旋回速度	5.5min ⁻¹	9.7min ⁻¹		
走行速度(高/低)	5.4 / 3.2km/h			

●エンジン

型式	日野 J08E-UV
種類	インタークーラターボ付直接噴射式ディーゼル
定格出力	201kW / 2,100min ⁻¹ {265PS / 2,100rpm}

●フロントアタッチメント

名称	油圧圧碎機 KR1100TPR-2	油圧圧碎機KR1350TPR-40	解体バケット
開口幅	1,100mm	1,350mm	山積容量1.4m ³
単位質量	2,580kg	3,750kg	1,320kg

補足説明

- ・単位は国際単位系のSI表示です。
- ・運転質量は油圧圧碎機を含んだ質量です。
- ・機械質量・フルアタッチメント質量は油圧圧碎機が含まれていません。

[6. 仕様編]

警告

・油圧圧砕機の最大制限質量は3つ折れ超ロングアタッチメントで2,600kg、セパレートブーム仕様で4,000kgです。最大制限質量を超える油圧圧砕機やブレーカ、バケットの装着は行わないでください。

フロントアタッチメントの長さおよび質量(超ロングアタッチメント仕様)

品名	長さ (m)	質量 (kg)	摘要
メインブーム	4.18	2,520	セパレート・解体バックホウ兼用
インサートブーム	2.68	1,310	
フロントブーム	4.485	2,150	ジブシリンダ、配管を含む
インタブーム	2.3	1,370	アームシリンダ、配管を含む
アーム	5.85	1,890	バケットシリンダ、配管を含む

フロントアタッチメントの長さおよび質量(セパレートブーム仕様)

品名	長さ (m)	質量 (kg)	摘要
メインブーム	4.18	2,520	超ロングアタッチメント兼用
フロントブーム	4.36	3,110 [3,410]	アームシリンダ、ジブシリンダ、配管を含む セパレートブーム専用
アーム	3.3	2,070	バケットシリンダ、配管を含む HD回転ニブラー&ブレーカ

補足説明

[]内はセパレートブーム(大径ジブシリンダ)仕様を示します。

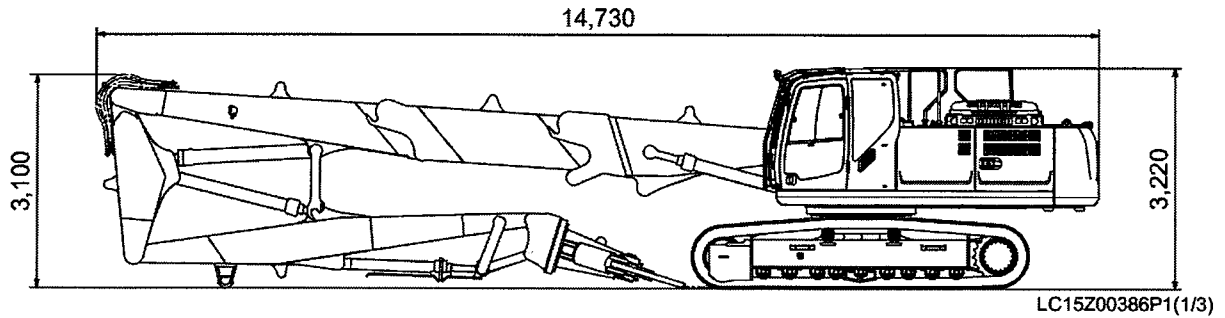
フロントアタッチメントの長さおよび質量(解体バックホウ仕様)

品名	長さ (m)	質量 (kg)	摘要
メインブーム	4.18	2,520	超ロングアタッチメント兼用
フロントブーム	3.63	2,240	アームシリンダ、配管を含む 解体バックホウ専用
アーム	3.3	2,070	バケットシリンダ、配管を含む HD回転ニブラー&ブレーカ

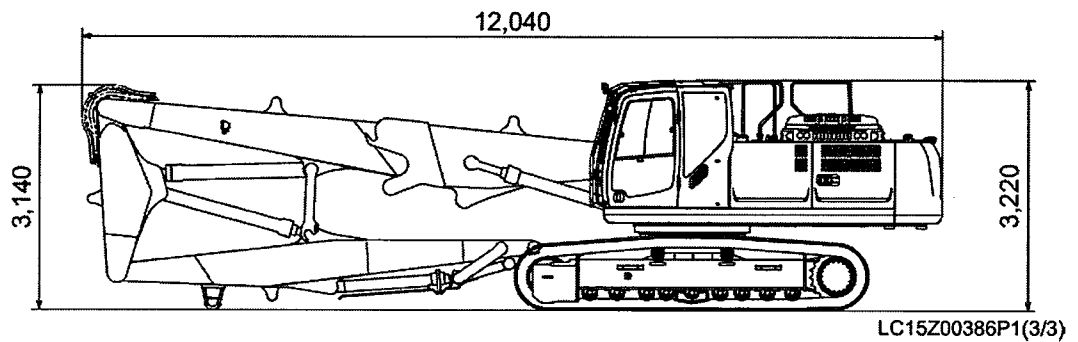
6.2 外形寸法

6.2.1 3つ折れ超ロングアタッチメント仕様

4.18Mメインブーム+2.68Mインサートブーム+4.485Mフロントブーム+2.3Mインターブーム+5.85Mアーム+KR1100TPR-2油圧圧碎機



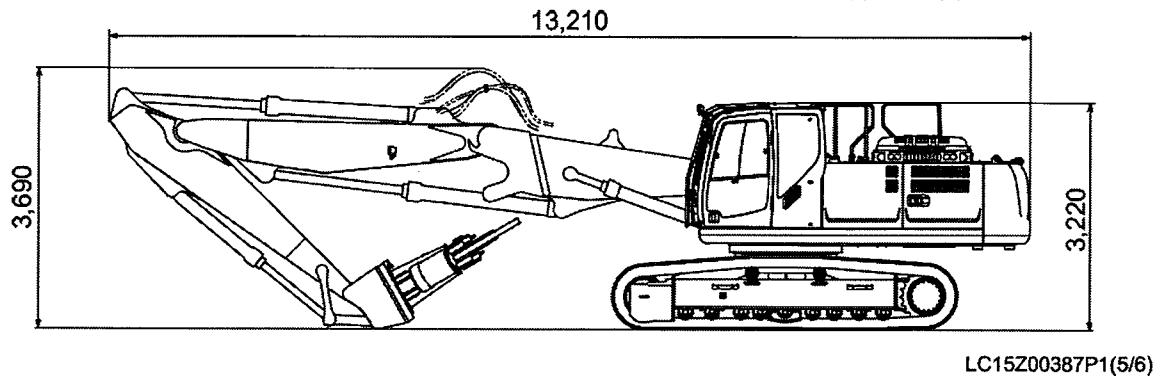
4.18Mメインブーム+4.485Mフロントブーム+2.3Mインターブーム+5.85Mアーム



6.2.2 セパレートブーム仕様

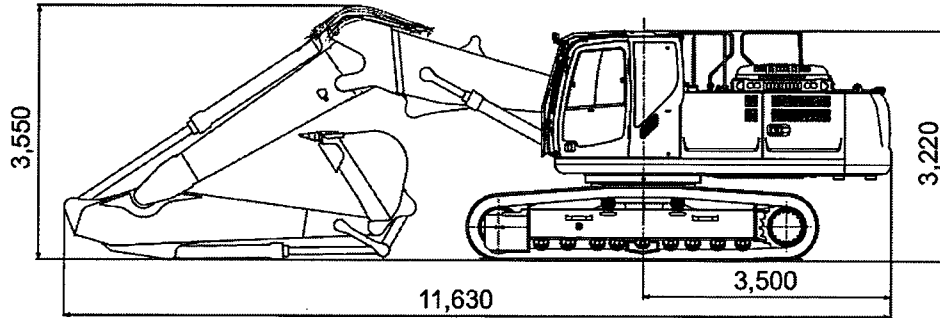
セパレートブーム仕様(基本ジブシリンダ仕様/大径ジブシリンダ仕様)

4.18Mメインブーム+4.36Mフロントブーム+3.3Mアーム+KR1350TPR-40油圧圧碎機



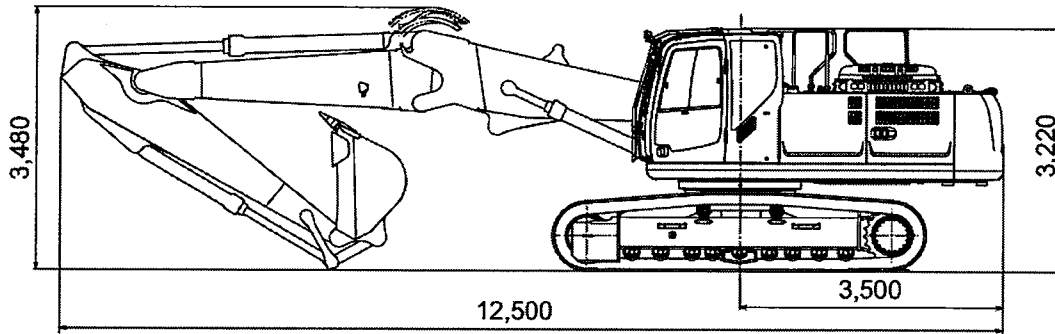
6.2.3 解体バックホウ仕様

3.6Mメインブーム+3.73Mフロントブーム+3.3Mアーム+1.4m³バケット
(作業ポジション)



LC15Z00407P1

3.6Mメインブーム+3.73Mフロントブーム+3.3Mアーム+1.3バケット
(輸送ポジション)



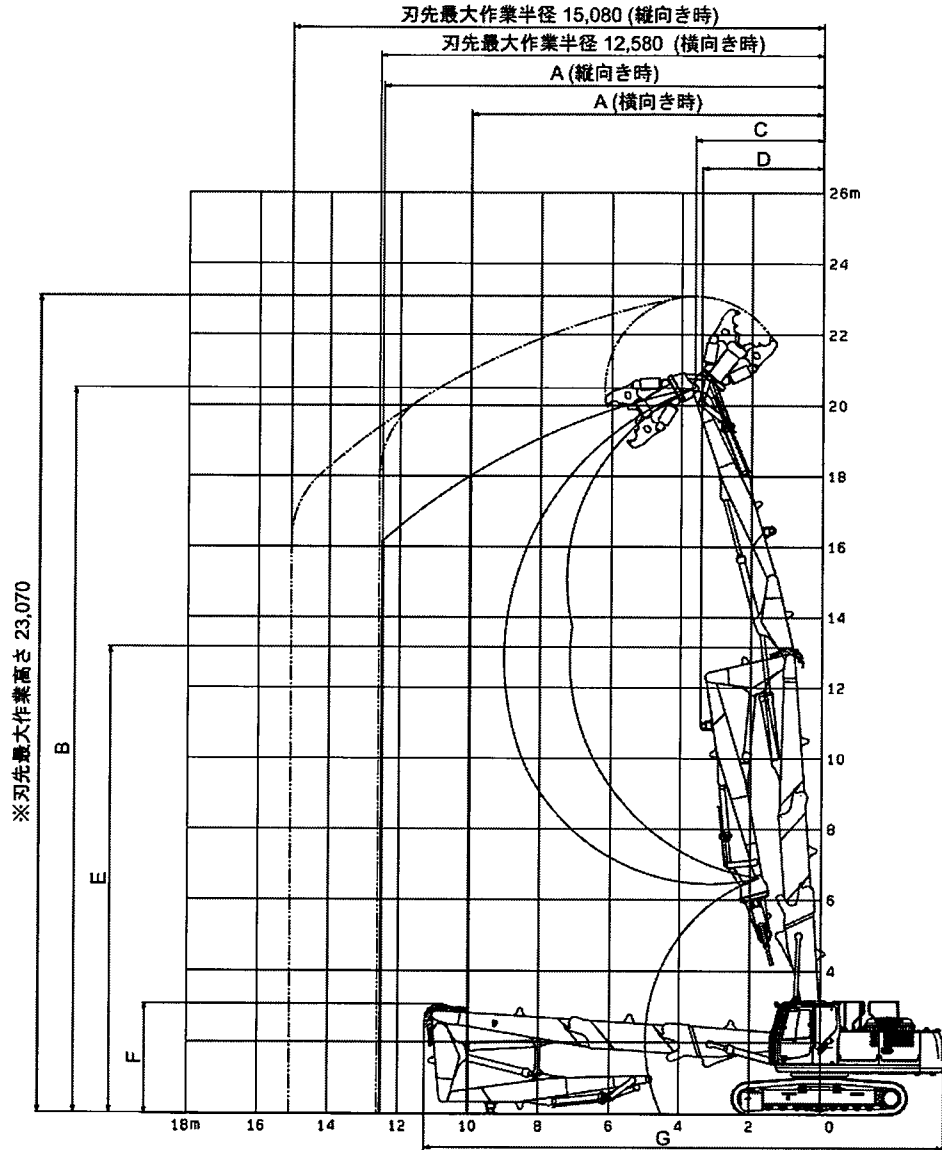
LC15Z00407P1

6.3 作業範囲図

6.3.1 3つ折れ超ロングアタッチメント仕様

3つ折れ超ロングアタッチメント仕様

4.18Mメインブーム+2.68Mインサートブーム+4.485Mフロントブーム+2.3Mインタブーム+5.85Mアーム+KR1100TPR-2油圧圧砕機付



LC11Z00524P1(1/2)

単位: mm

	名 称	仕様値
A	最大作業半径(縦向き時)(mm)	10000
	最大作業半径(横向き時)(mm)	12500
※ B	最大作業高さ(mm)	20490
C	最大作業高さ時半径(mm)	3610
※ D	フロント最小旋回半径(mm)	13150
E	7フロント最小旋回高さ(mm)	3100
F	格納姿勢時高さ(mm)	14730
G	格納姿勢時長さ(mm)	2600
	圧砕機総質量(kg)	2600

⚠ 警告

- 作業前には必ずマルチディスプレイに作業半径が表示されていることを確認してください。
- 作業半径が表示されない場合は転倒警報が作動せず機械転倒のおそれがあります。

⚠ 注意

LMN 使用上の注意

- 作業可能半径内で使用してください。
- アタッチメントの起伏作業
 - 組立はクローラ前後方向で行ってください。
 - アタッチメントを起す時は最下のブームシリンダから順に伸ばしてください。
 - アタッチメントを格納する時は、最上の油圧圧砕機シリンダから順に縮めてください。

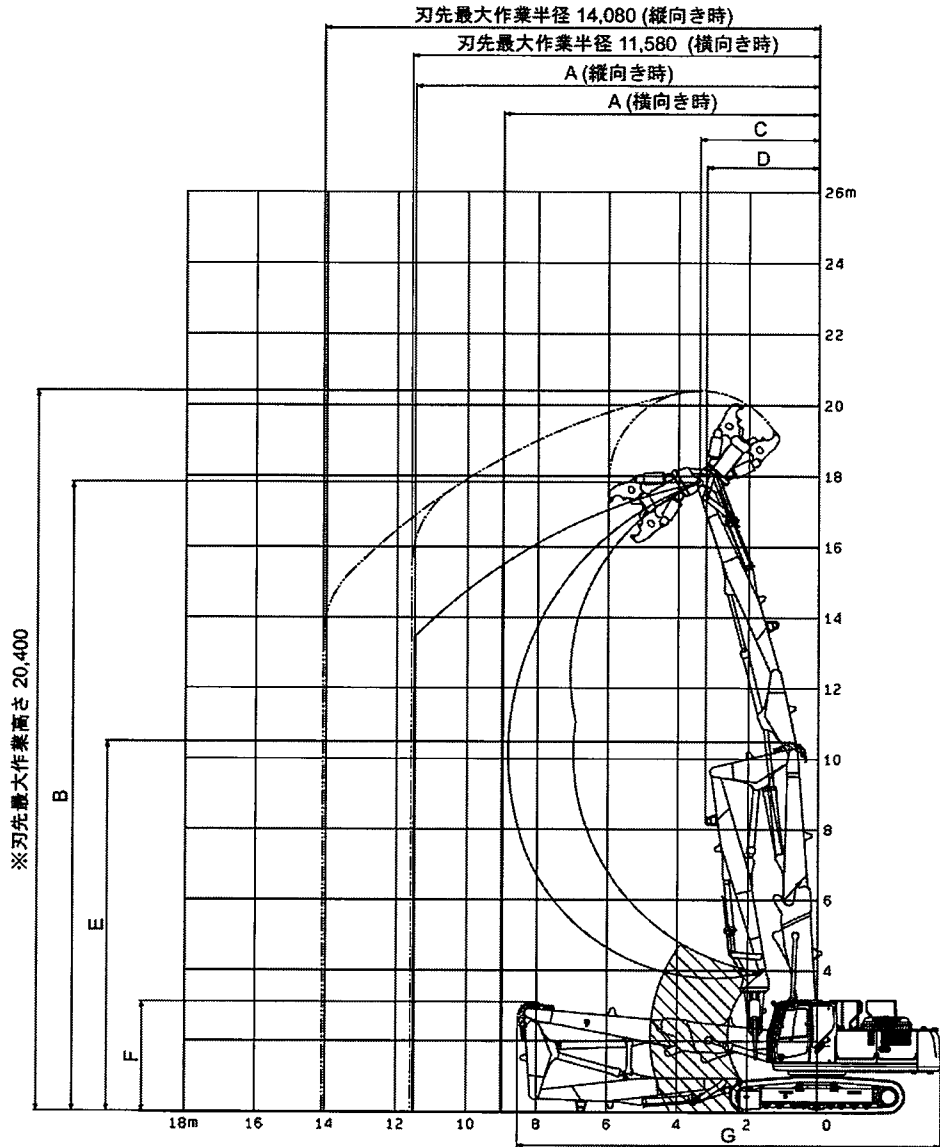
補足説明

- ※印は、シュー突起30mmを含まない数値を示します。
- 斜線部はキャブ干渉警報装置の警報域を示します。

[6. 仕様編]

3つ折れ超ロングアタッチメント仕様 (インサート抜き)

4.18Mメインブーム+4.485Mフロントブーム+2.3Mインタブーム+5.85Mアーム+KR1100TPR-2油圧
 圧砕機付



LC11Z00524P1(2/2)

単位: mm

	名 称	仕様値
A	最大作業半径 (縦向き時) (mm)	9000
	最大作業半径 (横向き時) (mm)	11500
B	最大作業高さ (mm)	17820
C	最大作業高さ 前半径 (mm)	3410
D	フロント最小旋回半径 (mm)	3220
E	フロント最小旋回高さ (mm)	10480
F	格納姿勢の高さ (mm)	3140
G	格納姿勢の長さ (mm)	12040
	圧砕機制動質量 (kg)	2600

警告

- 作業前には必ずマルチディスプレイに作業半径が表示されていることを確認してください。
- 作業半径が表示されない場合は転倒警報が作動せず機械転倒のおそれがあります。

注意

LMN 使用上の注意

- 作業可能半径内で使用してください。
- アタッチメントの起伏作業
 - 組立はクローラ前後方向で行ってください。
 - アタッチメントを起す時は最下のブームシリンダから順に伸ばしてください。
 - アタッチメントを格納する時は、最上の油圧圧砕機シリンダから順に縮めてください。

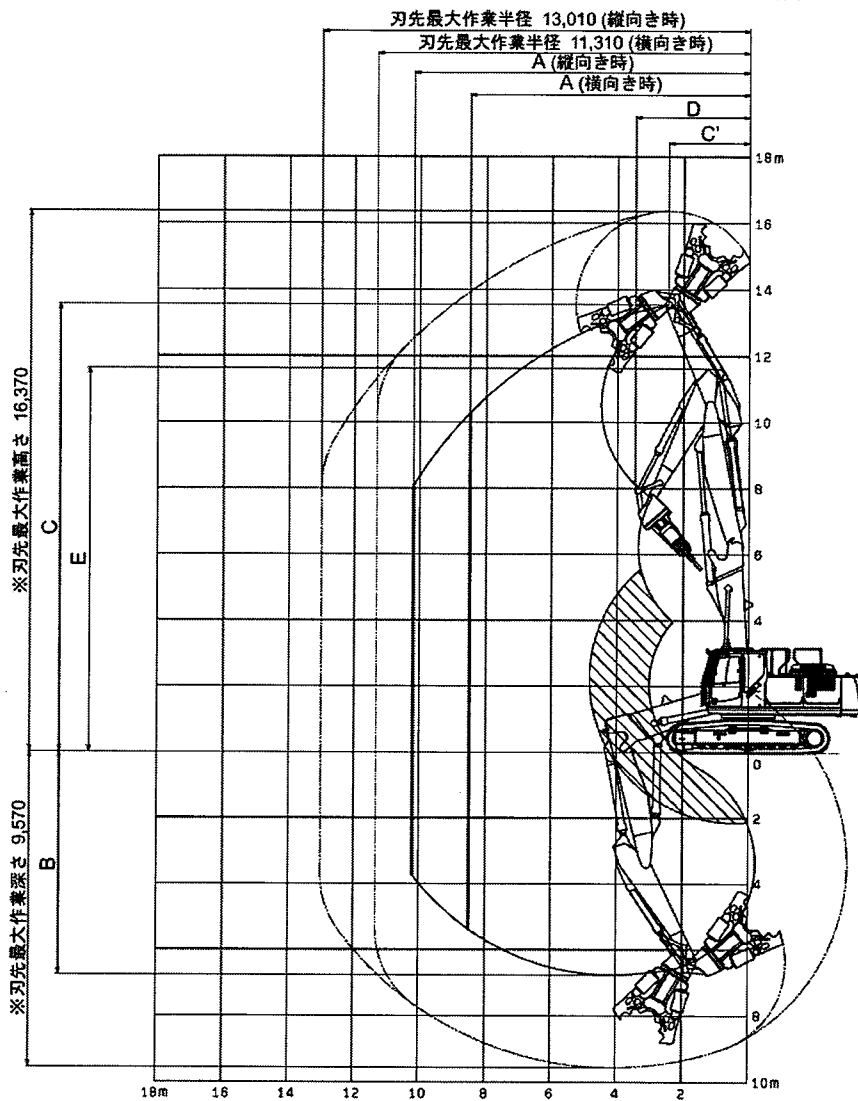
補足説明

- ※印は、シュー突起30mmを含まない数値を示します。
- 斜線部はキャブ干渉警報装置の警報域を示します。

6.3.2 セパレートブーム仕様

セパレートブーム仕様（基本ジブシリンダ／大径ジブシリンダ仕様）

4.18Mメインブーム+4.36Mフロントブーム+3.3Mアーム+KR1350TPR-40油圧圧砕機付



基本ジブシリンダ仕様

単位: mm		
	名称	仕様値
※ A	最大作業半径(縦向き時)	10200
	最大作業半径(横向き時)	8500
※ B	最大作業高さ (mm)	6770
※ C	最大作業高さ (mm)	13560
C'	最大作業高さ時半径 (mm)	2460
D	フロント最小旋回半径 (mm)	3460
※ E	フロント最小旋回高さ (mm)	11630
	圧砕機制御質量 (kg)	4000

大径ジブシリンダ仕様

単位: mm		
	名称	仕様値
A	最大作業半径(縦向き時)	10200
	最大作業半径(横向き時)	8500
※ B	最大作業高さ (mm)	6770
※ C	最大作業高さ (mm)	13570
C'	最大作業高さ時半径 (mm)	2440
D	フロント最小旋回半径 (mm)	3450
※ E	フロント最小旋回高さ (mm)	11630
	圧砕機制御質量 (kg)	4000

⚠ 警告

- ・作業前には必ずマルチディスプレイに作業半径が表示されていることを確認してください。
- ・作業半径が表示されない場合は転倒警報が作動せず機械転倒のおそれがあります。

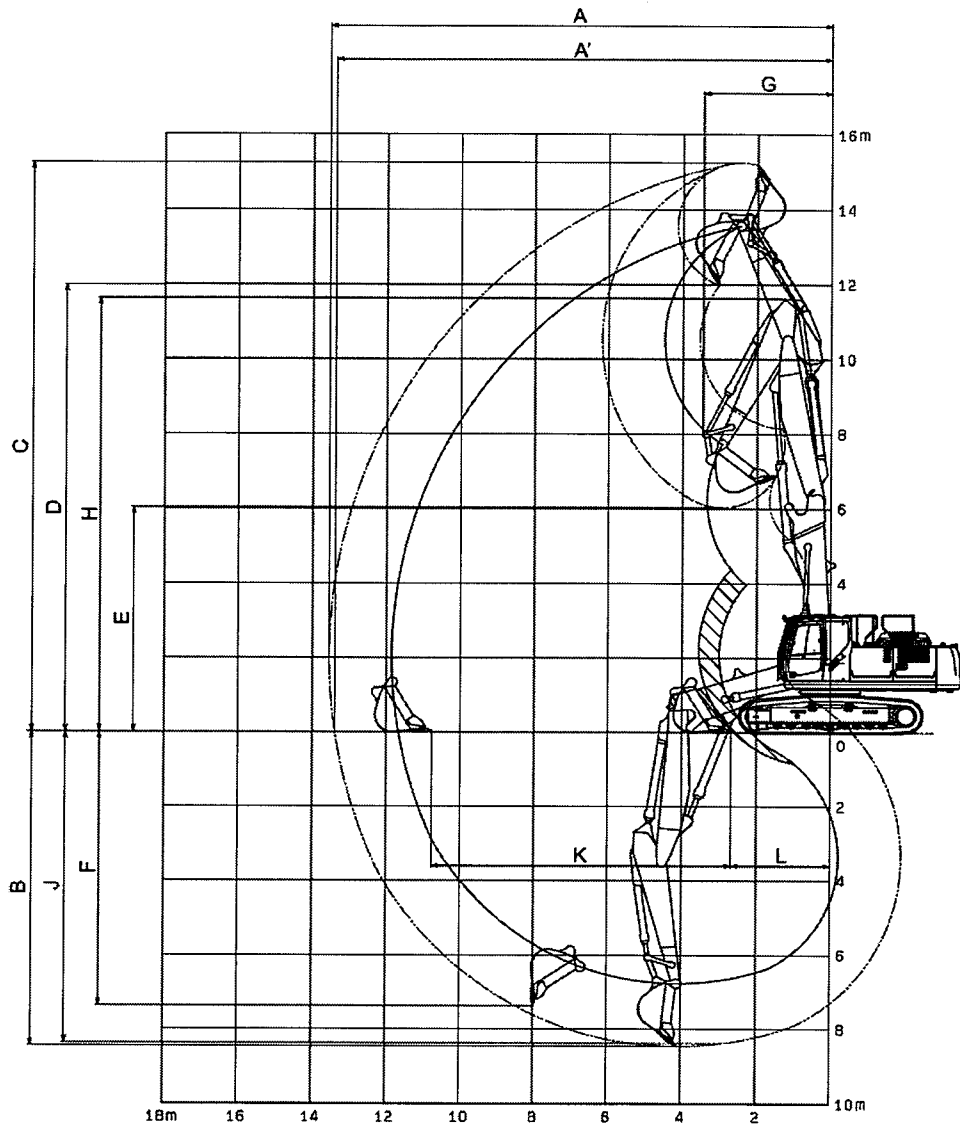
補足説明

- ・※印は、シュー突起30mmを含まない数値を示します。
- ・斜線部はキャブ干渉警報装置の警報域を示します。
- ・最大作業半径（JIS A8340-4 付属書JC 長尺作業装置付き油圧ショベルの要求事項）は、作業範囲制限アラームの警告ブザーが連続吹鳴しない条件において、最も作業半径が大きくなるものを示します。
- ・姿勢によって安定度が異なるため、最大作業半径の内側でも警告ブザーが吹鳴する場合があります。



[6. 仕様編]

セパレートブーム仕様（基本ジブシリンダ／大径ジブシリンダ仕様）
 4.18Mメインブーム+4.36Mフロントブーム+3.3Mアーム+1.4M³バケット付



LC11Z00546P2

基本ジブシリンダ仕様

単位：mm		
名 称	仕 様 値	
A	最大掘削半径（掘向き時）	13540
A'	床面最大掘削半径	13380
B	最大掘削高さ	8460
C	最大掘削高さ	15250
D	最大ダンプ高さ	11980
E	最小ダンプ高さ	6040
F	差高高さ	7380
G	フロント最小旋回半径	3470
H	最小旋回高さ	11630
J	8フィートレベル掘削高さ	8380
K	水平掘削距離 ストローク	8080
L	水平掘削距離 最小時	2690

大径ジブシリンダ仕様

単位：mm		
名 称	仕 様 値	
A	最大掘削半径（掘向き時）	13540
A'	床面最大掘削半径	13380
B	最大掘削高さ	8460
C	最大掘削高さ	15260
D	最大ダンプ高さ	11980
E	最小ダンプ高さ	6040
F	差高高さ	7380
G	フロント最小旋回半径	3470
H	最小旋回高さ	11630
J	8フィートレベル掘削高さ	8380
K	水平掘削距離 ストローク	8500
L	水平掘削距離 最小時	2270

警告

- ・作業前には必ずマルチディスプレイに作業半径が表示されていることを確認してください。
- ・作業半径が表示されない場合は転倒警報が作動せず機械転倒のおそれがあります。

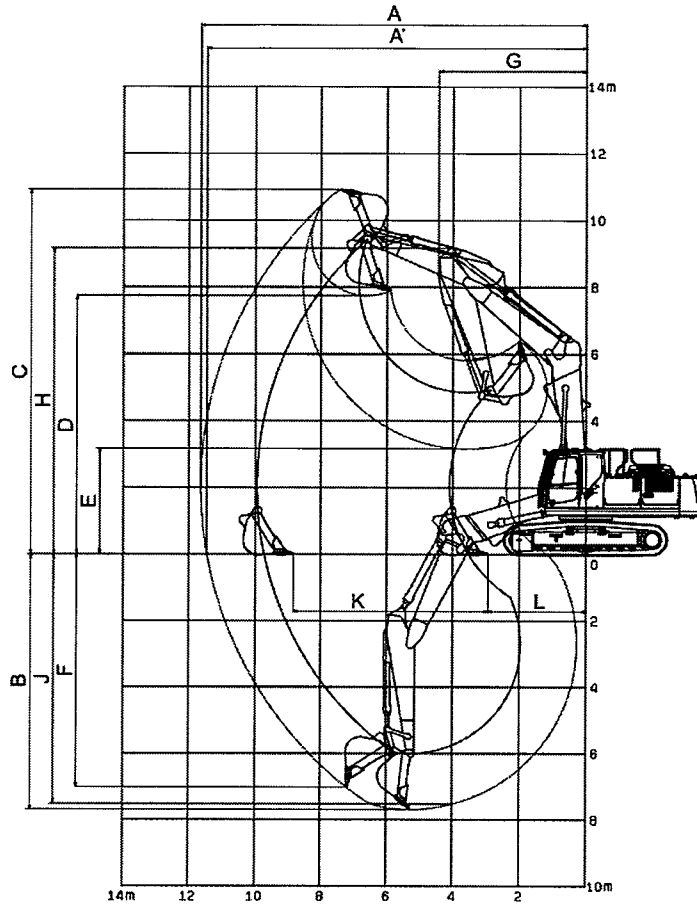
補足説明

- ・※印は、シュー突起30mmを含まない数値を示します。
- ・斜線部はキャブ干渉警報装置の警報域を示します。

6.3.3 解体バックホウ仕様

解体バックホウ仕様

3.6Mメインブーム+3.73Mメインフロントブーム+3.3Mアーム+1.4M³バケット付



LC11Z00568P1

		単位: mm	
	名 称	仕 様 値	
	A	最大掘削半径	11630
	A'	床面最大掘削半径	11450
	B	最大掘削深さ	7690
	C	最大掘削高さ	10930
	D	最大ダンプ高さ	7740
	E	最小ダンプ高さ	3170
※	F	垂直掘深さ	7010
※	G	フロント最小旋回半径	4440
	H	最小旋回時高さ	9170
※	J	日フィットレベル掘削深さ	7520
	K	水平掘削距離	ストローク 5890
	L		最小時 2950

補足説明

・※印は、シュー突起30mmを含まない数値を示します。